

●带状疱疹ワクチンについて

■带状疱疹をおさらい：

水ぼうそうにかかると、治った後もそのウィルスが身体の中に長く潜んでいて病気、加齢、疲労、ストレスなどにより免疫力が低下すると带状疱疹を発症します。「水痘・带状疱疹ウィルス」に初めて感染した場合は「水ぼうそう」として発症します。

■どんな人が発症しやすいのか：

加齢が大きな要因であり 50 歳代から発症率が上昇し、80 歳までに 3 人に 1 人が発症するといわれています。またこれまでに水ぼうそうにかかったことがある方は带状疱疹を発症する可能性があります。

■高齢者に带状疱疹が増加した背景：

水ぼうそうの子供と接触することで免疫が再活性化されます。祖父・祖母が孫と同居しなくなったことや水痘ワクチンの普及により水ぼうそうにかかる子供が減ったことなどが原因と考えられています。

■带状疱疹の何がつらいのか：

一番つらいことは痛みです。頭部や顔面にでると痛みのほかにめまい、耳鳴り、視力低下（角膜に感染）などを合併することがあります、また带状疱疹が治ったあとも痛みだけが長期的に残ることがあります（带状疱疹後神経痛）。

■ワクチン接種の目的：

带状疱疹の発症を予防することと仮に発症した場合でも重症化を予防することです。これは同時に後遺症の带状疱疹後神経痛の予防にもつながります。

■ワクチンの種類と特徴：

生ワクチン（ビゲン）と不活化ワクチン（シングリックス）の 2 種類があります。

それぞれに特徴があります。

①接種回数：生ワクチンは 1 回接種、不活化ワクチンは 2 回接種

②副反応：生ワクチンは皮下注射、不活化ワクチンは筋肉注射です。どちらも接種部位の痛み・腫れがありますが、不活化ワクチンの方が痛みは強いようです。

③予防効果と効果持続期間：不活化ワクチン>生ワクチン

④費用：どちらも自費扱いで、生ワクチンは 7500 円（当院）、不活化ワクチンは 20000 円程度（1 回分）です。当院では不活化ワクチンは取り扱っていません。接種費用は医療機関によって異なります。

■まとめ：

ワクチン接種の目的を考えれば、予防効果が高く、持続期間の長い不活化ワクチンが推奨されますが、2 回接種することや高価であることが残念です。私も生ワクチンを接種しました。